

## 期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 3月18日

横浜地方裁判所川崎支部民事部

裁判所書記官 中 川 晃 久

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

### 記

入札期間	令和 8年 4月 1日から 令和 8年 4月 8日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 4月15日 午前10時00分 場 所 横浜地方裁判所川崎支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 5月 7日 午前 9時30分 場 所 横浜地方裁判所川崎支部民事部
特別売却 実施期間	令和 8年 4月23日 午前10時00分から 令和 8年 4月23日 午後 3時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行, 損害保険会社, 株式会社商工組合中央金庫, 農林中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 3月18日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。なお, 特別売却実施期間中の買受申出の受付は, 午前10時から午後3時までの間(午後0時15分から午後1時までの間を除く。)に行います。	





## 物 件 目 録

### 1 (一棟の建物の表示)

所 在 川崎市麻生区片平四丁目2016番地5

建物の名称 ワコーレ柿生

### (専有部分の建物の表示)

家屋 番号 片平四丁目2016番5の305

建物の名称 305

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 52.47平方メートル

### (敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 川崎市麻生区片平四丁目2016番5

地 目 宅地

地 積 1913.14平方メートル

### (敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 14万6867分の5610



## 物件明細書

令和 8年 2月12日

横浜地方裁判所川崎支部民事部

裁判所書記官 中川 晃久

- 
- 
- 1 不動産の表示  
【物件番号1】  
別紙物件目録記載のとおり

---

---

  - 2 売却により成立する法定地上権の概要  
なし

---

---

  - 3 買受人が負担することとなる他人の権利  
【物件番号1】  
なし

---

---

  - 4 物件の占有状況等に関する特記事項  
【物件番号1】  
本件所有者が占有している。

---

---

  - 5 その他買受けの参考となる事項  
【物件番号1】  
管理費等の滞納あり。

### 《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



## 物件目録

### 1 (一棟の建物の表示)

所 在 川崎市麻生区片平四丁目2016番地5

建物の名称 ワコーレ柿生

### (専有部分の建物の表示)

家屋 番号 片平四丁目2016番5の305

建物の名称 305

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 52.47平方メートル

### (敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 川崎市麻生区片平四丁目2016番5

地 目 宅地

地 積 1913.14平方メートル

### (敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 14万6867分の5610



令和7年(ケ)第78号  
令和7年11月20日受理  
令和7年12月22日提出

# 現況調査報告書

横浜地方裁判所川崎支部

執行官 森田 政章

## 物 件 目 録

### 1 (一棟の建物の表示)

所 在 川崎市麻生区片平四丁目2016番地5

建物の名称 ワコーレ柿生

### (専有部分の建物の表示)

家屋 番号 片平四丁目2016番5の305

建物の名称 305

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 52.47平方メートル

### (敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 川崎市麻生区片平四丁目2016番5

地 目 宅地

地 積 1913.14平方メートル

### (敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 14万6867分の5610

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	川崎市麻生区片平四丁目15番14-305号	
建物	物件1	
種類、構造及び床面積の概略	<input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点異なる ( <input type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物 ) <input type="checkbox"/> 種類： <input type="checkbox"/> 構造： <input type="checkbox"/> 床面積：	
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-left: 10px;">┌ 種類：</li> <li style="margin-left: 10px;">├ 構造：</li> <li style="margin-left: 10px;">└ 床面積：</li> </ul>	
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙回答書のとおり 管理費 円 修繕積立金 円 円 円 円	令和 年 月 日現在 <input type="checkbox"/> 滞納はない <input type="checkbox"/> 滞納がある 令和 年 月分～ 年 月分 計 円 <input type="checkbox"/> 不明
管理費等照会先	ユニオン・シティサービス株式会社	
その他の事項		
敷地権	符号1	
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 (符号1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路 (符号 )	
形状	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> ほぼ建物図面 (各階平面図) のとおり <input type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>	
敷地権の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 所有権 (符号1) <input type="checkbox"/> 地上権 (符号 ) <input type="checkbox"/> 賃借権 (符号 )	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-left: 10px;">┌ 地方裁判所 支部 令和 年 ( ) 第 号</li> <li style="margin-left: 10px;">└ 保管開始日 令和 年 月 日</li> </ul>	
敷地権以外の土地 (目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	<input checked="" type="checkbox"/> 建物図面 (各階平面図) のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

令和7年(2)ヌ)第78号

担当執行官 森田政章

### 回 答 書

(該当事項の口に「✓」印を付してください。)

1 管理費等の額及び滞納額は次のとおりです。

※管理規約、集会決議等で、区分所有法により特定承継人行使できる債権とされたものを記載してください。

令和7年11月28日現在

<input checked="" type="checkbox"/> 管理費	月額	9,800	円	<input checked="" type="checkbox"/> 滞納額	107,800	円
<input checked="" type="checkbox"/> 修繕積立金	月額	27,440	円	<input checked="" type="checkbox"/> 滞納額	301,840	円
<input type="checkbox"/>	月額		円	<input type="checkbox"/> 滞納額		円
<input type="checkbox"/>	月額		円	<input type="checkbox"/> 滞納額		円
<input checked="" type="checkbox"/> 損害金	年	15	%	<input checked="" type="checkbox"/> 金額	29,745	円
<input checked="" type="checkbox"/> 滞納期間	令和7年1月分~令和7年11月分					

2 上記1以外の特定承継人行使できない債権で、徴収されている費用は次のとおりです。

<input type="checkbox"/>	月額	円	<input type="checkbox"/> 滞納額	円
<input type="checkbox"/>	月額	円	<input type="checkbox"/> 滞納額	円
<input type="checkbox"/>	月額	円	<input type="checkbox"/> 滞納額	円

3 管理費、修繕積立金以外について、特定承継人行使できる債権であることを定めた次の資料(コピー)を提出する。

管理規約      議事録

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■A (所有者)	1 本件建物は、私が住居として使用しています。 2 本件建物は、経年劣化はありますが、雨漏りや水漏れなど大きな不具合箇所はありません。ペットは飼っていません。

執行官の意見	
1 目的物件の状況は、関係人の陳述、建物概略間取図及び写真のとおりである。 2 本件建物は、室内の状況及び関係人の陳述から、A（所有者）が占有しているものと認めた。	

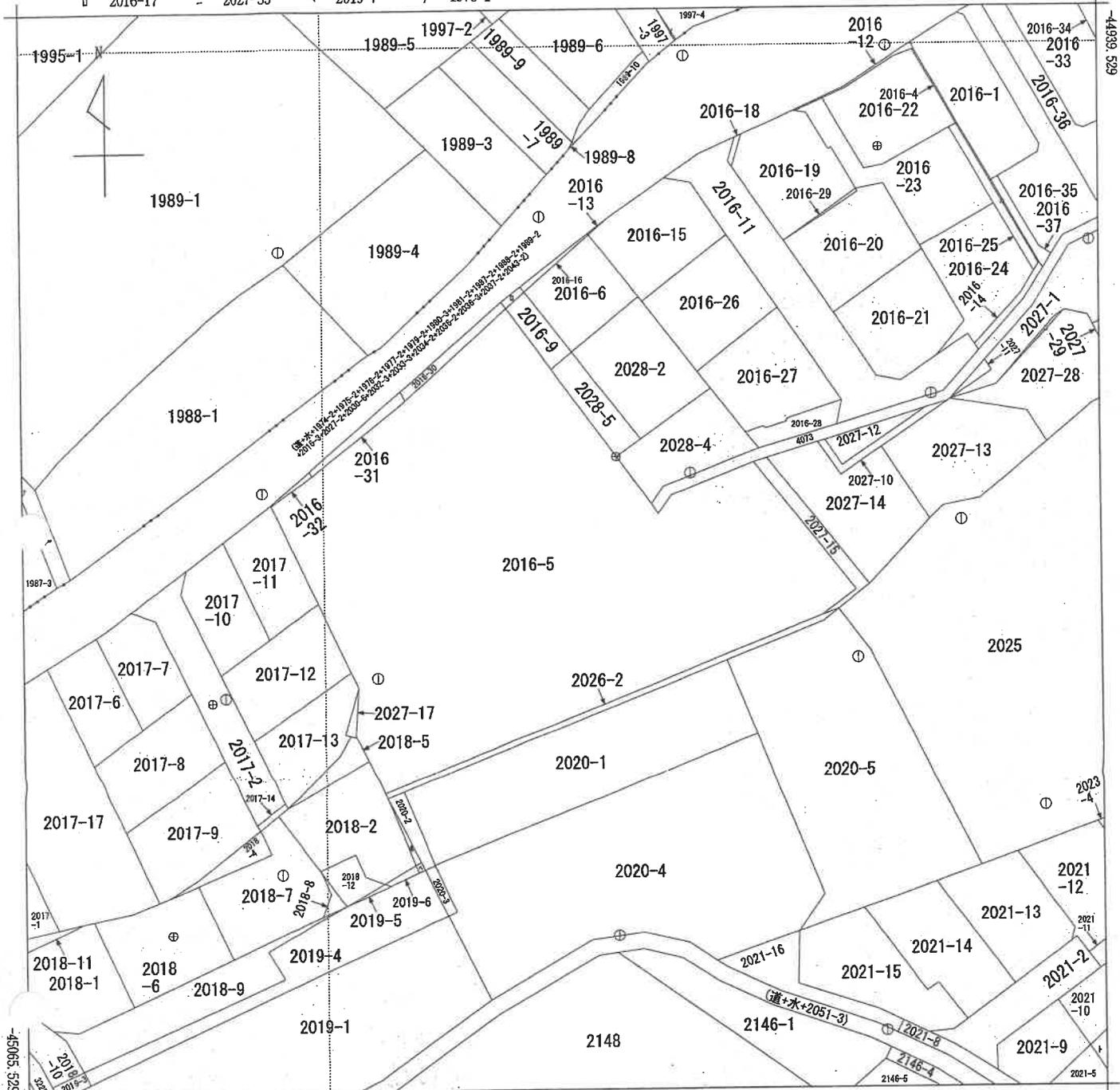
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年11月26日(水) 11:00-11:10	目的物件所在地	不在 通知書投函 外観調査 写真撮影
令和7年11月28日(金)	F A X	マンション管理会社に管理費等照会書送信 (回答書受領)
令和7年11月29日(土) 15:06-15:11	電話聴取	A (所有者) から事情聴取
令和7年12月2日(火) 11:36-11:37	横浜地方法務局 川崎支局	全部事項証明書交付申請
令和7年12月13日(土) 12:35-13:05	目的物件所在地	A (所有者) と面談 立入調査 [評価人同行] 写真撮影
(特記事項) <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。		
<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。		
<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

イ 1997-7    ハ 2016-39    ホ 2018-13    ト 2021-6  
 □ 2016-17    ニ 2027-33    ヘ 2019-7    チ 1978-1

(座標値種別：図上測定) -31202.429



-31327.429 (座標値種別：図上測定)

(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouki2011.par)による修正がされています。

地番区域見出  
 片平  
 片平4丁目

請求部	所在	川崎市麻生区片平四丁目			地番	2016番5	
出力縮尺	1/500	精度区分	甲二	座標系番号又は記号	IX	分類	地図(法第14条第1項)
作成年月日						種類	地籍図
				備付年月日(原図)		補記事項	

これは地図に記載されている内容を証明した書面である。

(横浜地方法務局麻生出張所管轄)

令和7年10月10日  
 東京法務局

A4判に縮小

請求番号：41-1  
 (1/1)

登記官

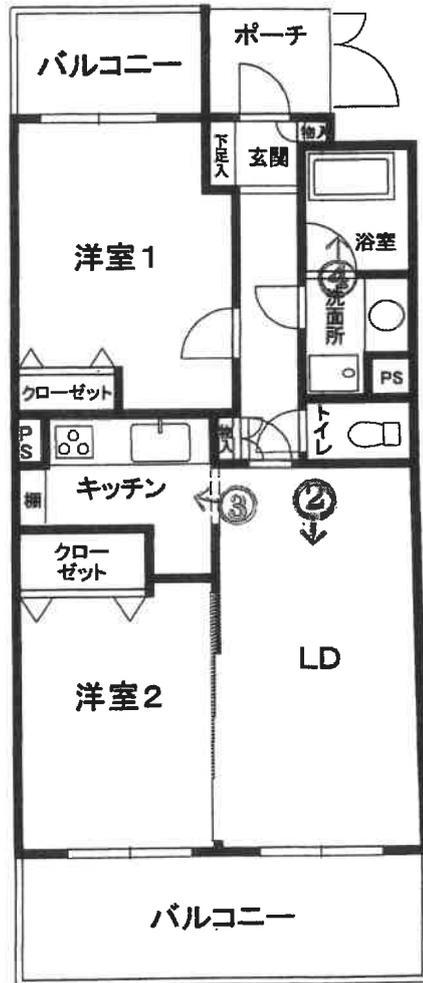
(6枚目)





# 建物概略間取図

○は、写真撮影位置・方向を示す。



①受命物件1を含む一棟の建物の外観（北西方向から撮影）



②



③



④



令和 7 年 (ケ) 第 78 号  
令和 7 年 12 月 13 日 現地調査  
令和 8 年 1 月 5 日 評 価

横浜地方裁判所川崎支部

# 評 価 書

評価人 不動産鑑定士

西 川 浩 美

## 第1 評価額

物件番号	評 価 額
1	金 14,090,000 円

## 第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。  
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

### 第3 目的物件

番 号	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり	住居表示 「麻生区片平四丁目15番14-305号」
特 記 事 項		
ない		

\*現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じである。

## 物 件 目 録

### 1 (一棟の建物の表示)

所 在 川崎市麻生区片平四丁目2016番地5

建物の名称 ワコーレ柿生

### (専有部分の建物の表示)

家屋 番号 片平四丁目2016番5の305

建物の名称 305

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 52.47平方メートル

### (敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 川崎市麻生区片平四丁目2016番5

地 目 宅地

地 積 1913.14平方メートル

### (敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 14万6867分の5610



#### 第4 目的物件の位置・環境等

##### 1 土地の概況及び利用状況等（土地の符号1）

位置・交通	小田急小田原線「柿生」駅の北西方約1.2km（道路距離、以下同）、小田急多摩線「五月台」駅の南西方約1.2kmに位置する（附属資料「位置図」参照）。	
付近の状況	マンション、一般住宅、アパート等が混在する住宅地域。周辺には農地や駐車場、未利用地等も見られる。	
主な公法上の規制等 （道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第一種低層住居専用地域 40% 80% なし 第1種高度地区、宅地造成等工事規制区域 埋蔵文化財包蔵地（麻生区No. 78: 散布地、北西側部分）
画地条件	地積 形状 間口・奥行 地勢	1,913.14㎡ 不整形 間口約35m×奥行（最大）約48m 北東傾斜地をマンション敷地として開発しており、起伏がある。
接面道路の状況	北西側幅員約5.7～6m舗装市道（建築基準法第42条1項1号）に約35m、ほぼ等高に接面する一方路地。道水路台帳では、道路区域の幅員は約7m前後であるが、目的土地の対面側は一部法地となっている。	
土地の利用状況等	対象専有部分を含む1棟の建物の敷地等として利用されている。	
供給処理施設	上水道	あり
	都市ガス	なし（プロパンあり）
	下水道	あり
敷地権の表示	敷地権の種類	所有権
	敷地権の割合	146,867 分の 5,610
特記事項	<p>◇登記上、地番2016番30、地番2016番31、地番2016番32土地は川崎市所有の公衆用道路である。</p> <p>◇符号1土地は国土調査がなされており、法第14条1項地図を基に土地の確認を行い、登記数量を採用した。なお、建築計画概要書の敷地面積は1,913.14㎡となっている。</p> <p>◇エントランスへは階段を6段下りる。スロープは設置されていない。</p> <p>◇公図、道水路台帳平面図等によると符号1土地の南側から東側の一部は水路敷に接しているが、現地では立ち入れず確認できなかった。</p>	

## 2 建物の概況

### (1) 一棟の建物の概要

マンション名	ワコーレ柿生	
建物の用途	住宅（総戸数26戸）	
建築時期及び経済的 残存耐用年数	建築年月日	平成8年8月7日（登記記載）
	経過年数	約30年
	経済的残存耐用年数	約20年
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造3階建 延べ1,581.49㎡	
仕 様	屋根：陸屋根・ルーフィング葺 外壁：タイル貼等	
設 備 等	駐車場、駐輪場、集合郵便受、ゴミ置場、オートロック、プロパン庫等	
建物の品等	使用資材	普通
	施工	普通
管理の形態等	管理組合	あり
	管理方式	委託
	管理会社	ユニオン・シティサービス株式会社
	その他	管理事務室有
管理の状況	普通	
特記事項	<p>◇一棟の建物は建築確認を受け、完了検査済証の交付（平成8年8月7日、06-75263）も受けている。</p> <p>◇本件建物は、容積率除外の自動車車庫等を含む建物で、容積率の超過はないと思料される。</p> <p>◇規約共用部分として、ゴミ置場（鉄筋コンクリート造スレート葺平家建、6.85㎡、家屋番号：2016番5）、自転車置場（鉄筋コンクリート造1階建、1階部分59.98㎡、家屋番号：片平四丁目2016番5の109）が登記されている。</p> <p>◇本件建物にエレベーターはない。</p>	

(2) 専有部分の概要

構 造	鉄筋コンクリート造1階建		
位 置	3階 (305号室) 中間部屋 主要開口部の方位: 南東向き		
床 面 積	52.47㎡ (登記面積)		
間 取 り	2LDK (附属資料「建物概略間取図」参照)		
バルコニー等	バルコニーあり		
仕 様	天 井	ビニールクロス貼等	
	床	フローリング等	
	内 壁	ビニールクロス貼等	
	設 備	キッチン、トイレ、ユニットバス等	
	そ の 他	なし	
保守管理の状態	普通		
管 理 費 等	管理会社の回答書によれば下記のとおり。 令和7年11月28日現在		
		月額	滞納額
	管 理 費	9,800円	107,800円
	修繕積立金	27,440円	301,840円
	備 考	遅延損害金年15%の規定あり。	
遅延損害金 29,745円 (滞納期間令和7年1月分～令和7年11月分)			
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	令和7年12月13日: 内部立入調査 建物所有者が占有し、住居として利用している。		
特 記 事 項	◇給排水、諸設備の不具合の有無については確認できなかったが、Aは特に不具合はないと陳述していた。 ◇室内は建築時以降にリフォームされている模様であった。 ◇マンションのため下り天井部分が存する。		

## 第5 評価額算出の過程

本件においては積算価格、比準価格及び収益価格をそれぞれ求め、試算価格を調整のうえ、評価額を後記のとおり決定した。

### 1 積算価格の試算

建物の価格に、敷地権価格を加算して、積算価格を試算した。

#### (1) 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡)	専有面積 (㎡)	専有率	現価率	建物価格 (円)
310,000	× 52.47	÷ 0.87	× 0.28	= 5,230,000

専有率 : 共用部分も含む現況床面積に対する割合

現価率

: 経過年数 30年                      経済的残存耐用年数 20年  
観察減価率(中古マンションの市場性等を含む) 30%

: 耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり  
査定した。

$$\text{現価率} = \frac{\text{経済的残存耐用年数 } 20\text{年}}{(\text{経過年数 } 30\text{年} + \text{経済的残存耐用年数 } 20\text{年})} \times (1 - 0.30) = 0.28$$

(2) 敷地権価格 (符号 1 の土地)

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次の通り求めた。

標準画地価格 (円/㎡)	個別格差	更地価格 (円/㎡)	地 積 (㎡)	建 付 減 価	敷地権割合	敷地権価格 (円)
172,000	× 0.90	155,000	× 1,913.14	× 1.00	× $\frac{5,610}{146,867}$	= 11,330,000

標準画地価格 : 標準画地価格は下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して決定した。

地価公示地 川崎麻生-14

$$\begin{array}{cccccc} \text{地価公示価格} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} & \\ 193,000\text{円/㎡} & \times \frac{104}{100} & \times \frac{100}{100} & \times \frac{100}{117} & = & 172,000\text{円/㎡} \end{array}$$

- ◇ 時点修正 : 令和 7 年 1 月 1 日から評価日までの推定変動率である。
- ◇ 標準化補正 : 地価公示地 は標準的画地で補正の必要はない。
- ◇ 地域格差 : 地価公示地の所在する地域は対象地域に比較して交通接近条件、環境条件等で優り、街路条件等で劣り、総合格差で上記のとおり。

個別格差 : 目的土地は形状、地勢等で劣り、格差は上記のとおり。

地積 : 登記数量

建付減価 : 建付減価率 0% と判定した。

敷地権割合 : 登記上の敷地権割合による。

(3) 積算価格（敷地権付建物の価格）

前記で求めた基礎となる建物価格と敷地権価格を合算した額に、所要の修正を行った上、積算価格を求めた。

建物価格（円）	敷地権価格（円）	個別格差 (階層・位置・品等程度)	積算価格（円）
5,230,000	+ 11,330,000	× 0.99	= 16,390,000

個別格差：階層別補正、位置別補正などの総合格差で上記のとおり。

階層別補正：0.99（3階、エレベーターなし）

位置別補正：1.00（南東）1.00 ×（中間部屋）1.00

その他補正：1.00（不要と判定した。）

相乗積  $0.99 \times 1.00 \times 1.00 = 0.99$

2 比準価格の試算

基準階の比準価格 (円/㎡)	個別格差 (階層・位置・品等程度)	その他の 個別格差	専有面積 (㎡)	比準価格 (円)
429,000	× 0.99	× 1.00	× 52.47	= 22,280,000

基準階の比準価格：近隣地域・同一需給圏内の類似地域にある同類型の区分所有建物の取引事例等を収集・分析し、各種補正及び価格形成要因の比較を行って、基準階専有部分の1㎡当たりの比準価格を査定した。

個別格差：積算価格の個別格差に同じ。

その他の個別格差：不要と判定した。

### 3 収益価格（DCF法による）

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される正味純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法(Discounted Cash Flow法)による価格を以下の通り査定した。

#### DCF法による価格査定表

(この表で採用している数字や指数は確定値ではなく、且つ買受人に保証しているものでもない)

3年間の有効純収益現価の合計 (円) ア	正味復帰価格の現価					DCF法による価格 (円) ア+カ キ
	4年目期首有効純収益 (円) イ	最終還元利回り ウ	3年目期末復帰価格 (円) イ÷ウ×(1-0.03) ※ エ	複利現価率 ※2 (8.2%) オ	正味復帰価格の現価 (円) エ×オ カ	
1,259,355 (19.2%)	600,520	8.7%	= 6,695,453 = 6,700,000	0.7894	5,288,980 (80.8%)	= 6,550,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率：複利現価率に用いる還元利回りは一般市場における収益物件の標準的な還元利回りを基準として決定した。

ア：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の正味純収益を現在価値に割引いた額の合計である。

イ：保有期間末（第4期期首）の正味純収益である。売却準備完了後の目的物件の収益力を明示している。

ウ：4年目の正味純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに目的物件の個別リスクを考慮して査定した。

エ：4年目の正味純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から目的物件の売却に伴う仲介手数料相当額を控除した額である。

オ：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ：売却予測価格の手取り価格に複利現価率を乗じて(割り引いて)求めた売却予測価格(手取り価格)の現在価値である。

キ：保有期間中の正味純収益の現価の合計(ア)に売却予測価格の現価(カ)を合算して、目的物件のDCF法による収益価格を結論付けている。

#### 4 評価額の判定

##### (1) 試算価格の調整

以上により積算価格、比準価格、収益価格が求められた。マンション取引が多くみられることから、市場の実勢を反映した比準価格を重視し、積算価格を関連づけ、収益価格を参考として所要の調整を行ったうえ、調整後の価格を以下の通り求めた。

加重平均割合 積算価格 : 40 比準価格 : 50 収益価格 : 10

	占有減価修正前の試算価格(円)	占有減価修正	試算価格(円)
積算価格	16,390,000	× 1.00	= 16,390,000
比準価格	22,280,000	× 1.00	= 22,280,000
収益価格			6,550,000
調整後の価格			18,350,000

占有減価修正 : 要しない。

##### (2) 評価額の判定

調整後の価格(円)	市場性修正	競売市場修正	滞納管理費等相当額の減価	その他の控除減価(敷金等)	評価額(円)
18,350,000	× 1.0	× 0.80	× 0.96	-0	= 14,090,000

市場性修正 : 不要と判定した。

競売市場修正 : 評価条件記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

滞納管理費等相当額の減価 : 滞納管理費等の控除割合は管理費・修繕積立金滞納額の元本のみを基礎に 4% と求めた。

その他の控除(敷金等) : 要しない。

## 第6 参考価格資料

- 1 地 価 公 示 : 川崎麻生-14  
所 在 : 川崎市麻生区片平4丁目2057番5 「片平4-3-29」  
価 格 : 193,000円/m<sup>2</sup>  
位 置 : 小田急小田原線「柿生」駅900m  
価 格 時 点 : 令 和 7 年 1 月 1 日  
地 積 : 132m<sup>2</sup>  
供給処理施設 : 水道、下水、ガス  
接 面 街 路 : 南西側6m私道  
用途指定等 : 第一種低層住居専用地域 (建蔽率50%、容積率100%)  
地域の概要 : 一般住宅、アパート等が混在する住宅地域
  
- 2 固定資産税評価額 (令和7年度)  
物件1 (建物) 4,353,572円  
符号1 (土地) 173,713,112円 (敷地権の割合 146,867分の 5,610 )

## 第7 附属資料の表示

位置図

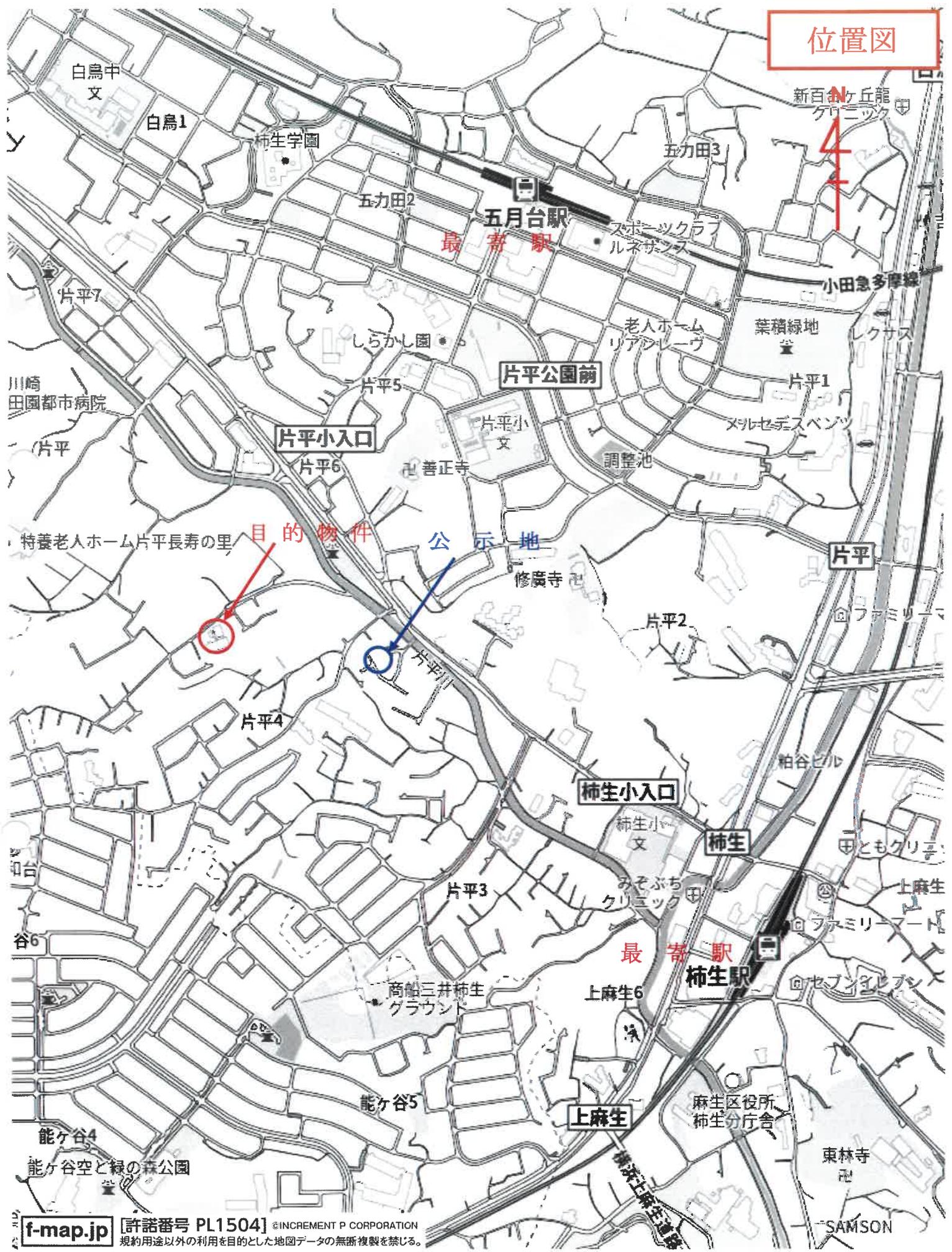
公図写 (A3判からA4判へ縮小)

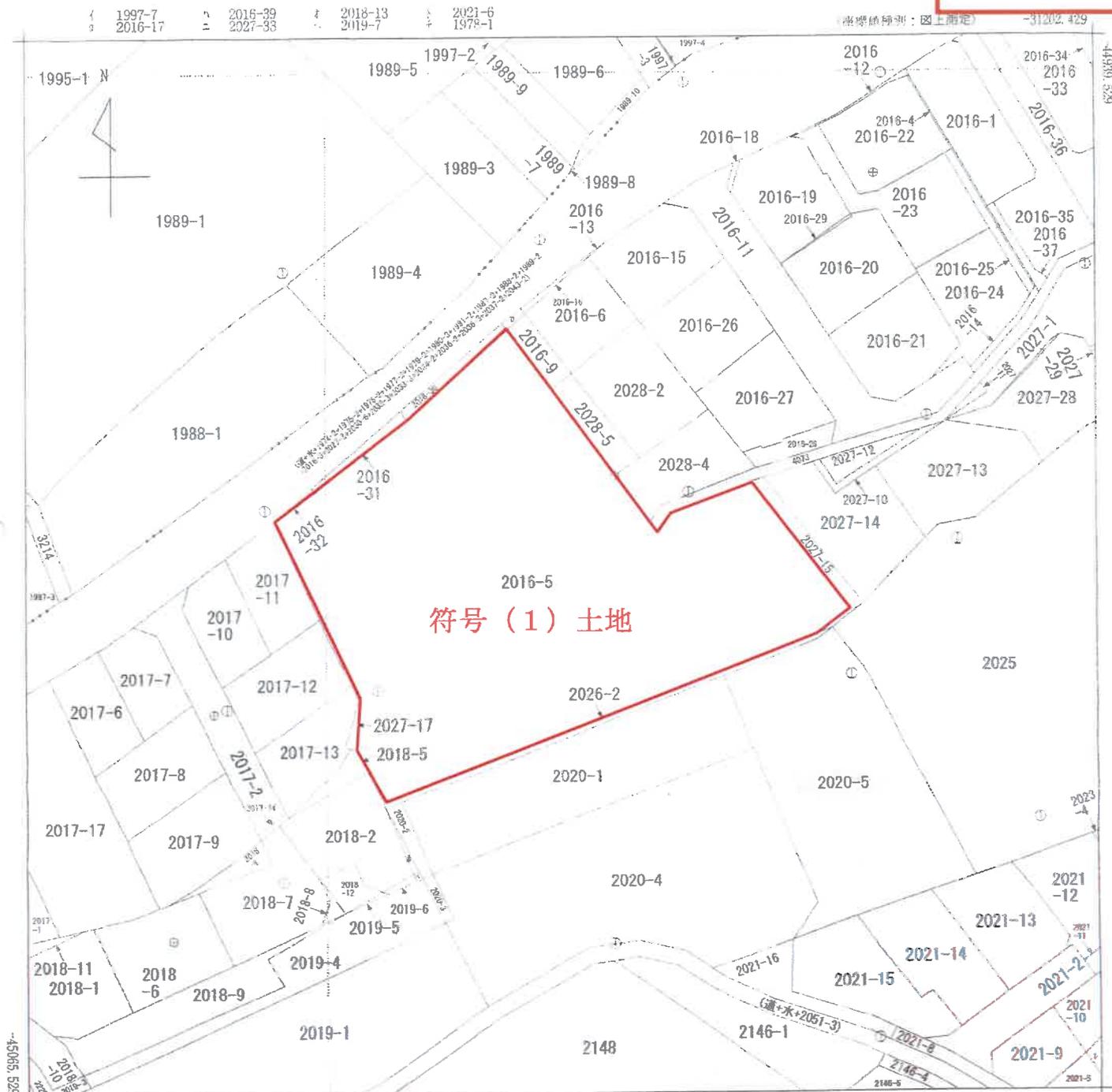
建物図面・各階平面図写 (A3判からA4判へ縮小)

建物概略間取図

以 上

# 位置図





-31337.429 (座標値種別：図上測定)  
 (注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhoku taiheiyouuki2011.par)による修正がされています。

地番区域見出  
 片平  
 片平4丁目

請求分	所在	川崎市麻生区片平四丁目		地番	2016番5	A3をA4に縮小	
出力縮	1/500	精度区分	甲二	座標系番号又は記号	IX	分類	地図(法第14条第1項)
作成年月日				備付年月日(原図)		補事項	

これは地図に記載されている内容を証明した書面である。

(横浜地方務局麻生出張所管轄)

令和7年10月10日  
 東京法務局



# 建物概略間取図

